

令和元年第1回総合教育会議議事録

(要 旨)

開催日 令和元年8月28日(水) 16:00~17:00

開催場所 名寄庁舎 大会議室

出席者 市長 加藤 剛 士
教育長 小松 浩 一
職務代理者 高橋 潤 子
委員 中枝 雅 樹
委員 梅野 範 子
委員 野 新

事務局職員 総務部長 中山 村 勝 己
企画課長 山河 岸 克 利
教育部長 河合 合 信 二
学校教育課長 荒井 昭 典
参事(指導主事) 千葉 藤 良 彦
生涯学習課長 伊藤 見 慈 生
生涯学習課主幹 松見 澤 良 子
体育施設管理課長 紀國 谷 大 介
智恵文公民館長 中山 山 康 子
風連公民館主幹 中野 野 勇 人
児童センター館長 芝野 田 美 記
北国博物館長 吉田 田 清 人
図書館長 鈴木 木 力
天文台長 村上 上 ヌル
給食センター所長 小笠原 恭 彦
学校教育課総務係長 伊藤 藤 富 弘
貴 子

傍聴者 なし

議 事 (1) 教育に関する「大綱」の策定について
(2) 当面する教育諸課題について
(3) その他

会議録（要旨）

進行：荒井課長

- 1 開 会 午後4時00分
- 2 市長挨拶
- 3 教育長挨拶
- 4 議 事

※設置要綱第4条の規定により市長が議長を務める。

(1) 教育に関する「大綱」の見直しについて

[学校教育課長]

大綱策定につきましては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地方公共団体の長が策定することになりました。このことから、名寄市総合計画-第2次-前期計画の基本目標とその考え方を踏襲した大綱を、平成29年度に策定してきました。その後令和元年度から4年間の総合計画中期計画が策定されましたので、教育分野におきましても、その総合計画の基本目標と考え方を踏襲した、教育行政に関する大綱に見直しをするものです。

[議 長] 意見はないか。

〈委員から出された意見〉

(質 問) なし

————— 異議なく承認 —————

(2) 当面する教育諸課題について

[学校教育課長]

名寄市内の小中学校の耐震化率について、上川管内の未耐震化の自治体の一覧が新聞報道されましたが、名寄市の状況についてお手元の資料に基づき説明いたします。

現在の耐震化率は風連中央小学校の改築が完了し、下多寄小学校が廃校となったことにより79.3%となっております。耐震化が必要な名寄市内の小中学校は、名寄中学校、名寄東中学校、智恵文小学校の3校で、現在、智恵文地区から小中一体型校舎への改築要望が出ており、実現すると82.1%となりますが、名寄市街地区の中学校2校の耐震化が課題となります。

以上、教育諸課題について情報提供といたします。

〈委 員〉

小中学校施設の耐震化について情報提供を受けたが、智恵文小学校の改築が優先されるのか？

(事務局)

智恵文地区からの要望も頂いており検討中となっている。建築年数から行くと智恵文小学校が一番古く整備が優先されるとの考え方は、議会の中でも答弁をさせていただいている。

(事務局)

智恵文地区の小中学校は、小中一貫教育を取り組んでおり、一体型校舎へ改築することにより、小中一貫教育が推進される。

(委員)

耐震化率を引き上げるために、年次的にどのような計画で整備していくのか？

(事務局)

学校教育施設は、総合計画中期計画期間内で方向性を決めて行きたい、国では早急に耐震化率を100%にするよう求めている。さらに、大規模改修等の施設整備に係る補助も100%達成していないと採択されない。耐震化の推進は、自治体の財政状況等により各市町村の取組にはばらつきがある。

(事務局)

できるだけ早く整備したいと考えているが、財政状況等も考慮し考えて行きたい。現在立地適正化計画を策定しているが、それらも加味し、全体のバランスを考えて進めて行きたい。

(委員)

学校の規模の考え方について、現在の学校運営上クラス替えを出来る規模が必要と考える。特に人間関係がうまくいかない等辛い思いを持ちながら学校に行っている生徒がいる。学校を再編するには、通学や立地場所等様々な要件を考慮しなければならないと考える。小中一貫校についても小学校から中学校まで同じメンバーで過ごすこととなるが、実際のところどうなのか考える部分もあると思う。

(事務局)

小中一貫の利点として、幅広い年代で小中の教員等多くの人間が関わることにより、社会性を育む、地域コミュニティで多くの大人が関わることにより、教育効果が期待できる。

閉 会 午後5時00分